

ミラクルソル協会 工法技術講習会開く

130人が参加、高い関心示す



ミラクルソル協会(原裕理事長)は先月19日、広島市のメルパルク広島で「第11回ミラクルソル工法技術講習会」を開いた(写真)。官公庁や建設会社などから約130人を集め、ガラス廃材を再資源化したミラクルソルの機能、応用工法などを紹介した。

ミラクルソルは多孔質の間隙構造を有し、軽量かつ強度な性質を持つ新素材。製造条件により0.3～1.5の比重、吸水・非吸水が調整できる。これらの特長を応用して斜面

や屋上の緑化、軽量盛土、水質浄化ろ過材など多くの新技術・新工法が提案され、その活用を広げている。

講習会ではまず、国土交通省中国地方整備局の小椋義弘・企画部技術調整管理官が「公共事業に関する最近の話題」をテーマにした特別講演を行った。引き続き、原理事長が「ガラス廃材を再資源化したミラクルソルのクラスター構想」環境緑化・環境土木工法への有効利用」と題して講演。種子を混合しないで斜面緑化ができるFWG・ウッドチップ工法、軟弱地盤に有効なFWG・

軽量盛土工法を説明し、環境にやさしい工法であること強調した。また、同協会顧問の荒木宏之佐賀大学低平地研究センター長が「総合水管理における発泡廃ガラス『ミラクルソル』の意義」について講演し、ミラクルソルによる下水や河川水などの水質浄化機能、最近の取り組みを説明した。

講演後の質疑応答では、ミラクルソルに対する関心の高さを示すかのように、参加者から保水材としての役目や軽量盛土についての適応性、水質浄化ろ過材の維持管理など多くの質問が出た。

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

☎ (0952) 66-5750(代)

Fax (0952) 66-5751

購読料 月額5,775円(税込)

毎週火・木・土曜日発行

社団法人日本専門新聞協会会員

■ ホームページ ■

[http://www.](http://www.kensetsunews.co.jp)

[kensetsunews.co.jp](http://www.kensetsunews.co.jp)